

# 「まちをつくるようにとものつくる」

ふるまいから形について考えよう

① 町中の好きな場所からリサーチする ①



「室名の箱を置く」より、「ホームやストリートにこんな振る舞いがあるほしい」を町民の皆さんと議論します。WSにて模型やスケッチで形を提示し、付箋や書き込みにより様々な意見を反映させ、長与らしい活動・交流の場とテキストを考えます。

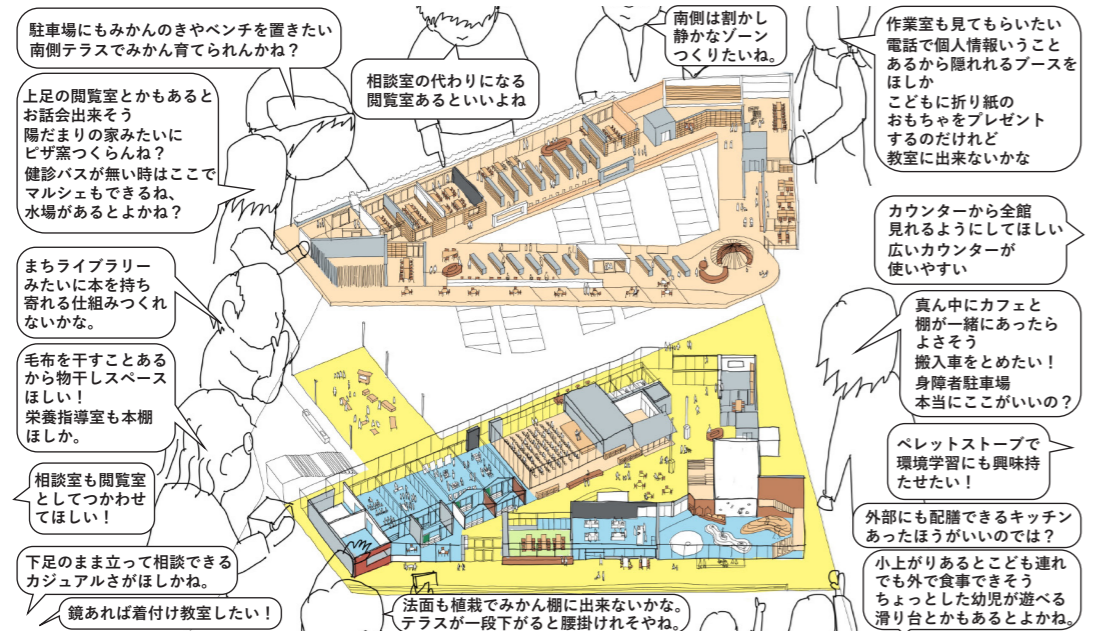
長与町には見晴らしの良さや川原石の基壇、漁師町を感じさせる川等様々な場所があり、町民それぞれにとっての長与町の美しさ・喜びの形や言葉を集めます。郷土資料の写真・住人からの写真、詩やテキストを集めて、ホームやストリートに取り込みます。

## 町そのものを健康づくりプロジェクト



新施設の建築の完成をゴールとするのではなく町そのものを健康づくりをゴールとします。建築の検討の中で今からやれるものや、WSを完成後も継続していく仕組みを同時に生み出します。

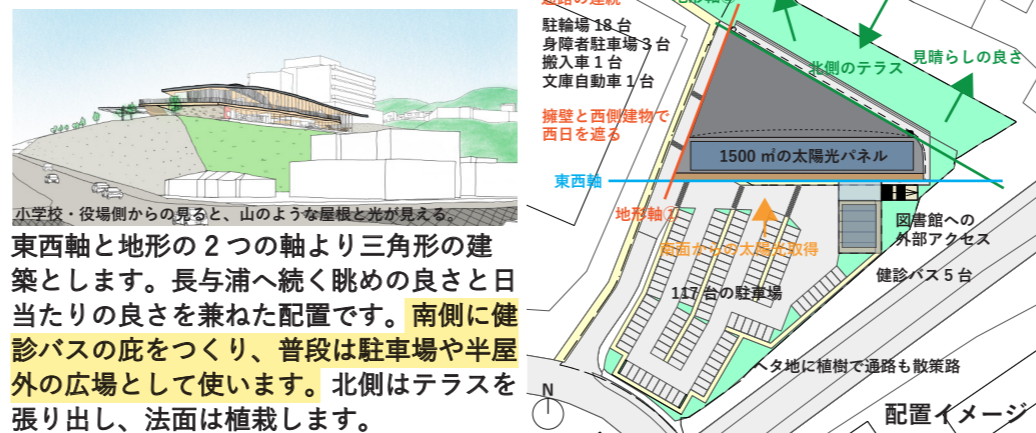
## 対話を重ねる中で「善い街をめざして」形を育てていく



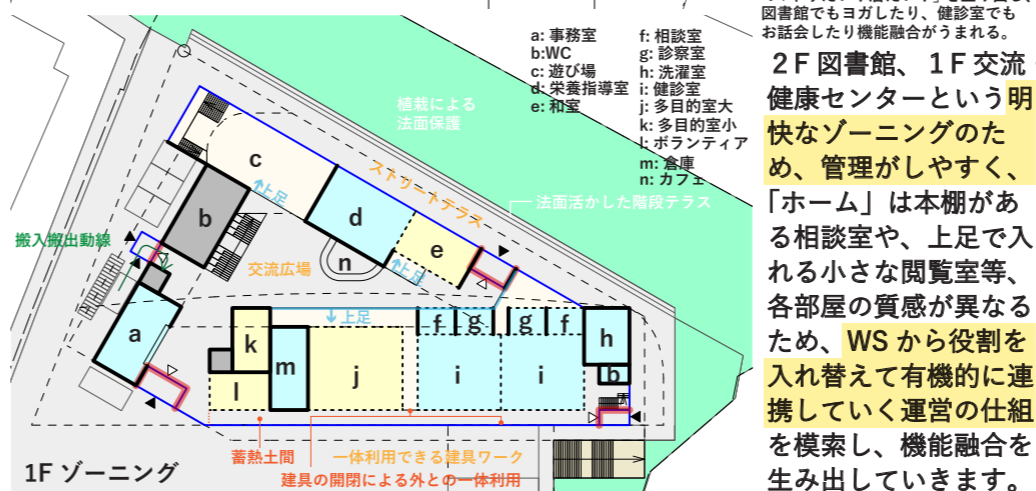
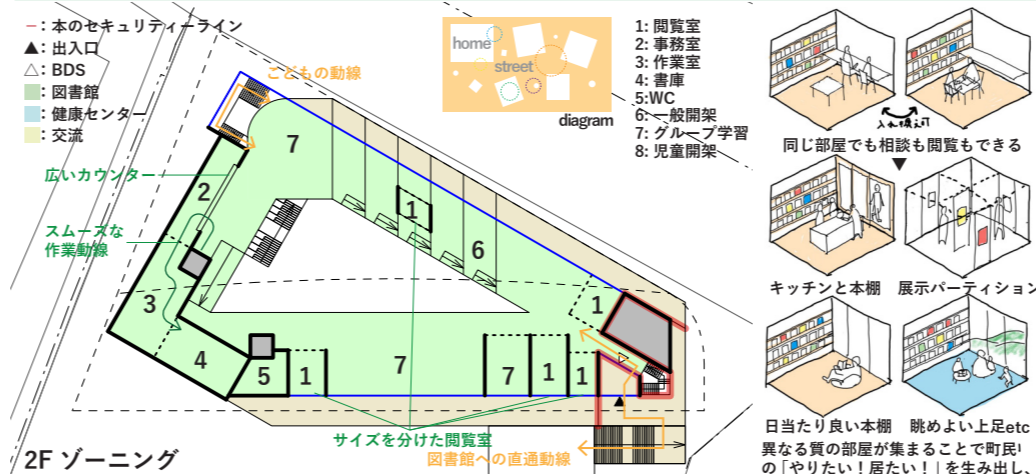
WSで集めた意見を模型や図面にし、ラボにて議論を行い、町民のラボリーダーにラウンドテーブルで発表を行っていただきます。経緯をテキスト化し、町民に周知します。

# 「建築を計画する上で大事にしたいこと」

眺めの良さと南面で作る三角形配置



## 明確なゾーニングと役割の交換による機能の融合



## 太陽のエネルギーを取り込む山並みと連続する大らかな屋根



三角形の屋根に南面する切込みを入れて冬場のみ日射を取得できる開口部を設けます。ZEBのための太陽光パネルを設置しながら、太陽熱も同時に取得できる屋根です。幾何学的な作り方をはっきりさせることで、ローコストにつながり、開口面積によって熱がどれくらい変わるのかをWSにて検討しながら形態を決めていきます。

